



始



八月閲覽統計表

昭和廿九年八月一日

最高

十七日

日曜日

晴

五九〇人

最低

七日

水曜日

晴

三八六人

分

類

和漢書

洋書

計

比百分

外國人	雜業者	無職業者	業者	官吏軍人	宗教者教育者	記者著述者	商工業者	學生	職業別	男	閲覽人員	計	閱覽統計表																				
													總類	第一類	第二類	第三類	第四類	第五類	第六類	第七類	第八類	第九類	文學、語學	哲學、宗教	法制、社會政	歷史、地政	理學、醫學	美術、藝術	交通、通信業	家政	統計、經濟		
三二六	○	三九四	三七七	三六八	六四五	六一六	二六	五八三	三二六	一	一	一	五〇三	二四九	二三四	二一五	一九八九	一六〇〇	一六〇〇	一六〇〇	一六〇〇	一六〇〇	一六〇〇	一六〇〇	一六〇〇	一六〇〇	一六〇〇	一六〇〇	一六〇〇	一六〇〇	一六〇〇	一六〇〇	一六〇〇
八五〇	○	二六四	三〇	二九四	三六	三六	一九四	五八三	三二六	一	一	一	四一八	一八五	一八五	一八五	一八五	一八五	一八五	一八五	一八五	一八五	一八五	一八五	一八五	一八五	一八五	一八五	一八五	一八五			
三六八	○	三九一	三七九	三六八	六四九	六一六	二六	五八〇	三二六	一	一	一	四三九	二八七	二八七	二八七	二八七	二八七	二八七	二八七	二八七	二八七	二八七	二八七	二八七	二八七	二八七	二八七	二八七	二八七			
四八二	○	三九一	三七九	三六八	六四九	六一六	二六	五八〇	三二六	一	一	一	四四〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇			

備考 上記は館内閲覽統計のみにて且つ兒童室の統計は此の以外なり

□九月閲覽統計表

四三〇人

最高 十七日 日曜日 晴

最低廿九日 月曜日 晴

八四一人

分類

和漢書

百分

總類 感
內哲記

第一類 哲學、宗教

第二類 教育

第三類 文學、語學

第四類 歷史、地誌

第五類 法制、經濟

第六類 理學、醫學

第七類 工學、兵事

第八類 美術、諸藝

第九類 交通、通信業

計

書圖冊冊數

一日平均

閱覽人員

男

職業別

官公吏軍人學生

宗教者教育者

記者著述者

商工業者

雜業者

無職業者

外國人

計

備考 上記は館内の閲覽統計のみにて見童室の統

計は此の以外なり

八月入館兒童學校別調

	小學校名	入館兒童數
二九二	兒 閣 兒童數覽	四三三數館
三三五	尋常科六學年	那古野、清水
全五學年	全三學年	熱田高等、師小
九六	一二〇	米野、日置、明倫
全六學年	全五學年	新道、八重
一一一	一一一	八幡、第一高等
一〇	針枝所元	櫻子、瑞穂、東新
一一一	一一一	樺、古渡
花大	白壁、紫川	旗屋
一一一	一一一	久屋、森後
一一一	一一一	廣井、圓町
一一一	一一一	金城、大成、中村
一一一	一一一	儀、田代、門前
一一一	一一一	東、白
一一一	一一一	久屋、白川、鶴島
一一一	一一一	第二高等、露橋
一一一	一一一	神目
一一一	一一一	莊子、三藏、幅下
一一一	一一一	西堀地、南押切
二二一	二二一	以上七十三校、二千三百四十八名，外尋常科卒業，
二二二	二二二	中等學校一二年生，未就學兒童、市外兒童，合計四〇
二二三	二二三	一名。

八月閱覽兒童學年別

男	兒	女
學年	兒童數覽	兒童數覽
尋常科六學年	三七一	一二一
全五學年	全三學年	全五學年
九六	一二〇	全六學年

九月開竟兒童學年別

卷之三

本業他
三三九八一
六一七五四
五、〇七七 一、一一八 六
三九、〇五八 九、二九三 四九

入	兒童數館	小學校名
七九五〇	六一九六	松 大 小 御 松
四四六四	二九九〇	器 元 井 針 所 枝
一〇七七	八四三	一三一二
五七九	正 千 橋 前 小	三三二二
木 種	津 川	兒 童 數 館

以上
八十二
校馬野後 水等屬穗壁町倫幡等子野井藏重原屋置新棠藏川前等岳渡奥田早
傳米森儀清第師瑞白園明八第猿那筒三八管旗日日棟高白門愛高古下東千葵愛六第波
一範 高勝 高 古 知 高 知高 等反等寄屋

常端上中疊小楠笠批南中菴船西櫛共神則金上白花幅呼征七田古六久紫大露新廣山東池
杷押 築 之
體富野川田確 寺島切村子方地 立戸武城宿鳥木下續島町代新郷屋川成橋道井日新

八月入館兒童學校別調

八月閱覽統計表

九月閱覽統計表

八月閱覽統計表

國朝詩二十九

六

終

近松の自由戀愛の復活	三田村高魚	三二一	七三一
心中物世界見物	清水正巳	九六四	一三四
商業世界見物	清木正巳	九六四	一三四
フナード自動車學		九六四	一三四
知らねばならぬ電氣の働き	笠瀬幸三郎	七二五	一九二七
下巻	井上謙吉	九三〇	一三二五
電氣化學及蓄電池	大森安象	七三五	一六二五
法學論集	横田秀雄	五二二	一八七
手によりて分類せる文庫	武邊清一	六四七	一三六
英文學研究	和歌國雄	七三四	一五二〇
獨逸文學と其國民思想	加藤美侖	四九〇	一三一〇
電氣磁氣測定法	瀧藤義三	七三一	西二〇
必携自動車學	笠瀬幸三郎	七二五	一九二〇
夜話高原のさくやき	青木晶吉	五五〇	一二二〇
日本文化史概觀	藤崎俊茂	四二〇	一五九
左近の局	本田美禪	三三三	一九六
儒學史	宇野哲人	四二二	一六一八
上巻	肥田丈夫	七三一	八一七
電信電話	肥田丈夫	七三一	八一七
皇太子海外御巡遊日誌	宮内省	四五六	一七一五
學校用兒童劇脚本	東京高等師範學	三三五	一七一五
子供を賣くする爲に	三田谷啓	五五五	一九一五
昭憲皇后御解	佐々木信綱	三四一	一九一五
佐々木信綱	佐々木信綱	三四一	一九一五
名古屋市公設市場概說	名古屋市役所	自七月一日	午後三時より午後五時まで
寄生蟲豫防	内務省衛生局	午後三時より午後六時まで	
横濱商工案内	横濱市役所	午後三時より午後六時まで	
東京帝大工學部紀要	東京帝大工學部	午後三時より午後六時まで	
現代生活に於ける電氣	電氣學會	午後三時より午後六時まで	
姫路高等學校	姫路高等學校	午後三時より午後六時まで	
愛知縣偉人傳第六	横濱市役所	午後三時より午後六時まで	
蓬萊丸寫真帖	大坂船會社	午後三時より午後六時まで	

近松の自由戀愛の復活	三田村高魚	三二一	七三一
心中物世界見物	清水正巳	九六四	一三四
商業世界見物	清木正巳	九六四	一三四
フナード自動車學		九六四	一三四
知らねばならぬ電氣の働き	笠瀬幸三郎	七二五	一九二七
下巻	井上謙吉	九三〇	一三二五
電氣化學及蓄電池	大森安象	七三五	一六二五
法學論集	横田秀雄	五二二	一八七
手によりて分類せる文庫	武邊清一	六四七	一三六
英文學研究	和歌國雄	七三四	一五二〇
獨逸文學と其國民思想	加藤美侖	四九〇	一三一〇
電氣磁氣測定法	瀧藤義三	七三一	西二〇
必携自動車學	笠瀬幸三郎	七二五	一九二〇
夜話高原のさくやき	青木晶吉	五五〇	一二二〇
日本文化史概觀	藤崎俊茂	四二〇	一五九
左近の局	本田美禪	三三三	一九六
儒學史	宇野哲人	四二二	一六一八
上巻	肥田丈夫	七三一	八一七
電信電話	肥田丈夫	七三一	八一七
皇太子海外御巡遊日誌	宮内省	四五六	一七一五
學校用兒童劇脚本	東京高等師範學	三三五	一七一五
子供を賣くする爲に	三田谷啓	五五五	一九一五
昭憲皇后御解	佐々木信綱	三四一	一九一五
佐々木信綱	佐々木信綱	三四一	一九一五
名古屋市公設市場概說	名古屋市役所	自七月一日	午後三時より午後六時まで
寄生蟲豫防	内務省衛生局	午後三時より午後六時まで	
横濱商工案内	横濱市役所	午後三時より午後六時まで	
東京帝大工學部紀要	東京帝大工學部	午後三時より午後六時まで	
現代生活に於ける電氣	電氣學會	午後三時より午後六時まで	
姫路高等學校	姫路高等學校	午後三時より午後六時まで	
愛知縣偉人傳第六	横濱市役所	午後三時より午後六時まで	
蓬萊丸寫真帖	大坂船會社	午後三時より午後六時まで	

記念會

十月一日は、本館開館後滿一年に當るを以て、之記念事業として講演會、兒童伽倻大會、郷土地誌

展覽會を催した、大要左の如し。

一、郷土地誌展覽會（午前九時より午後五時まで）

二、會場木館（講演會、大閱覽室）

三、舟橋寛治氏（講演會、大閱覽室）

四、郷土地誌展覽會（午前九時より午後五時まで）

五、愛知通信社（講演會、大閱覽室）

六、慶尙南道（講演會、大閱覽室）

七、横井時儀氏（講演會、大閱覽室）

八、神戸高等商業學校（講演會、大閱覽室）

九、名古屋稅務監督局（講演會、大閱覽室）

十、名古屋市役所（講演會、大閱覽室）

十一、岩崎小彌太氏（講演會、大閱覽室）

十二、杉山徵典氏（講演會、大閱覽室）

十三、神宮神部署愛知支部（講演會、大閱覽室）

十四、臺灣總督府高等農林學校（講演會、大閱覽室）

十五、名古屋市役所（講演會、大閱覽室）

十六、田邊朔郎博士（講演會、大閱覽室）

十七、田邊朔郎氏（講演會、大閱覽室）

十八、東京博物館（講演會、大閱覽室）

十九、伊藤佐平氏（講演會、大閱覽室）

二十、水野保氏（講演會、大閱覽室）

二十一、品目錄の殘餘ある故、郵便貯金額付送附あれば贈呈す

べし。